

## 1.2 水のコアテーブルの概要

### 提案された水のコアテーブル（ドラフト）<sup>1</sup> （仮訳）

国連統計部

第 19 回環境勘定ロンドングループ会合  
2013 年 11 月 12～14 日

#### 序論

1. 国連統計委員会は 2013 年 3 月の第 44 回会議において、環境経済勘定体系セントラルフレームワーク（SEEA-CF）の実施計画を採用し、その中で、表と勘定のコアセットを開発するよう「国連・環境経済勘定に関する専門家委員会（UNCEEA）」に勧告した。政策の優先事項に基づく環境経済勘定を編集するために、各国から高い需要のある SEEA の領域の一つが、水である。

2. 水は生命にとって不可欠である。それは生態系の保全や、提供する財・サービスを確保するのと同様に、食物を育て、エネルギーを生成し、多くの工業製品を生産する上で重要な要素である。農業や都市、産業の使用による淡水の争奪の激化は水資源の窮迫をもたらし、多くの国（または国内の地方）が水不足の状況に至り、人口増加ばかりでなく、経済発展の限界に直面している。また、淡水資源の入手を制限することで、水質がさらに経時的に低下することがある。生態系とそれらが提供するサービスも、利用できる水の量と質によっては、有害な影響を受ける可能性がある。人間の生活や経済活動で水が不可欠な役割を果たしていることから、水勘定は、物的フロー勘定や資産勘定を含む多くの種類の勘定と組み合わせられる。

3. 提案された水のコアテーブルは、政策担当者が上記の問題に関連した情報に基づく意思決定を行うことを支援する情報の提供を目的としている。連結表示の貨幣・物的情報を提供し、物的な水フローや資産に関する情報を含んでいる。コアテーブルは簡潔な政策に関連した表示を行う。水のコアテーブルは、SEEA-CF、SEEA Water 及び水統計に関する国際勧告に基づいている。

4. コアテーブルの開発は、2013 年 2 月の第 44 回会議において、国連統計委員会が要求したものである。水のコアテーブルは、エネルギーや森林、その他の他のコアテーブルと共に、国際機関との緊密な連携のもとで、共通の研究開発テーブルを開発する出発点である。環境勘定に関するロンドングループや国際機関、各国統計局を含む専門家間の十分な協議を経た後で UNCEEA に提出される予定である。

<sup>1</sup> [http://unstats.un.org/unsd/envaccounting/londongroup/meeting19/LG19\\_8\\_5.pdf](http://unstats.un.org/unsd/envaccounting/londongroup/meeting19/LG19_8_5.pdf) 平成 26 年 1 月ダウンロード

5. この論文の構成は、以下の通りである。第1部で、コアテーブルが提示される。第2部ではコアテーブルに含まれる情報を使用した指標について説明し、第3部は、ここで示される中心的な水勘定の編集に必要なとされる基本的な手順を、重要なデータ・ソースの説明と共に概説する。第4部では、ロンドングループに質問のリストを提供している。別添には、コアテーブルを設定するのに必要なデータ項目が一覧表示されている。

### 第1部－提案された水のコアテーブル

6. はじめに提示された水のコアテーブルは以下の通りである。国の水事業の概観を示す国民経済計算と労働統計からの情報だけでなく、貨幣的・物的両方のフローに関する情報も組み合わせている。データ項目とその定義は、別添に記載されている。

7. 水勘定では、物的な水の取水とその使用を、産業別の産出及び付加価値の推計値や家計最終消費の合計と結びつけることに重点が置かれる。物的・貨幣的情報を同じ勘定に表示することにより、構造変化に起因する経済の変化が水資源に及ぼす影響を評価するための一貫性のある指標の導出が可能になる。経済モデルに連結勘定を用いることで、代替的な水政策と経済戦略の間で起こりうるトレードオフについて分析できるようになる。(経済モデルへの潜在的なリンクについては、SEEAのアプリケーションや拡張機能の中にさらに進んだ記載がある。)

8. 表の貨幣的な部分では、自然水と下水道サービスという二つの水関連生産物が特定されている。データの利用可能状況に応じ、灌漑用水などに関連した他の生産物が組み込まれる可能性がある。この貨幣的な部分には、各産業の生産物の総供給量の推計値も含まれ(すなわち、水以外の生産物の産出を含む)、したがって産業の産出合計の一部として水関連生産物産出の相対的重要性を示す指標を提供する。連結供給表の貨幣的な部分は、基本価格での産出の測定値から購入者価格での産出の測定値へと変換したことを示すために追加的記入を記録する。このステップを踏むことにより、貨幣的な使用表との勘定の均衡を維持することが可能になる。

9. 表における物的フローは、環境への総リターンの量と同様に、経済単位間で供給された水量を反映する。水の供給の大半は、水道業と下水道業に対応する列に示される (ISIC 35)。水力発電に関連するフローが水の総物的フローにおいて重要である場合、それらはISIC35の内訳の列に明示される。SEEA-CFは「最終水使用」という用語を使用しているが、SEEA-Waterでは「水消費」という用語を用いていることに留意されたい。

10. 連結表の貨幣部分に、水道業の総固定資本形成(投資)の推計を加えることは有益である。こうした記入は、表の中に行を付け足し、関連する各産業に対して行われる。

コアテーブル1ー結合された物的表と貨幣的表

Core table 1 - Combined physical and monetary table

	Industries (by ISIC division)							Rest of the world	Taxes less subsidies on products, trade and transport margins	Actual final consumption		Total
	ISIC 01-03	ISIC 05-33, 41-43	ISIC 35	ISIC 36	ISIC 37	ISIC 38,39, 45-99	Total industry			Households	Government	
<b>1. Supply of water products (Currency units)</b>												
Natural water	L.1.1	L.1.1	L.1.1	L.1.1	L.1.1	L.1.1	L.1.1		M.1.1.1-N.1.1.1			L.1.1+M.1.1.1-N.1.1.1
Sewerage services	L.1.2	L.1.2	L.1.2	L.1.2	L.1.2	L.1.2	L.1.2		M.1.1.2-N.1.1.2			L.1.2+M.1.1.2-N.1.1.2
<b>2. Total supply of products</b>												
<b>3. Intermediate consumption and final use (Currency units)</b>												
Natural water	L.4	L.4	L.4	L.4	L.4	L.4	L.4			L.4	L.4	L.4
Sewerage services	L.5	L.5	L.5	L.5	L.5	L.5	L.5			L.5	L.5	L.5
Other products												
<b>4. Gross value added (Currency units)</b>												
<b>5. Employment</b>												
<b>6. Use of water (Millions m3)</b>												
Total Abstraction	E	E	E	E	E	E	E	E	F.2+F.4			E+G+F.2+F.4
Use of water received from other economic units	G	G	G	G	G	G	G	G	F.2+F.4	G	G	G+F.2+F.4
Distributed water	G.1+G.2	G.1+G.2	G.1+G.2	G.1+G.2	G.1+G.2	G.1+G.2	G.1+G.2	G.1+G.2	F.2	G.1+G.2	G.1+G.2	G.1+G.2+F.2
Received wastewater	G.3+G.4	G.3+G.4	G.3+G.4	G.3+G.4	G.3+G.4	G.3+G.4	G.3+G.4	G.3+G.4	F.4			G.3+G.4+F.4
<b>7. Supply of water (Millions m3)</b>												
Supply of water to other economic units	F	F	F	F	F	F	F	F	G.2+G.4			F+G.2+G.4
Distributed water/water for own use	F.1+F.2	F.1+F.2	F.1+F.2	F.1+F.2	F.1+F.2	F.1+F.2	F.1+F.2	F.1+F.2	G.2			F.1+F.2+G.2
Wastewater	F.3.1+F.4.1	F.3.1+F.4.1	F.3.1+F.4.1	F.3.1+F.4.1	F.3.1+F.4.1	F.3.1+F.4.1	F.3.1+F.4.1	F.3.1+F.4.1	G.4.1			F.3.1+F.4.1+G.4.1
Reused water	F.3.2+F.4.2	F.3.2+F.4.2	F.3.2+F.4.2	F.3.2+F.4.2	F.3.2+F.4.2	F.3.2+F.4.2	F.3.2+F.4.2	F.3.2+F.4.2	G.4.2			F.3.2+F.4.2+G.4.2
Total returns	H	H	H	H	H	H	H	H				H
of which: losses	I	I	I	I	I	I	I	I				I
<b>8. Water consumption (Millions m3)</b>												
<b>9. Gross fixed capital formation (Currency units)</b>												
For water supply	P.1.1	P.1.1	P.1.1	P.1.1	P.1.1	P.1.1	P.1.1	P.1.1				P.1.1
For sewerage/sanitation	P.1.2	P.1.2	P.1.2	P.1.2	P.1.2	P.1.2	P.1.2	P.1.2				P.1.2
<b>10. Closing Stocks of fixed assets for water supply (Currency units)</b>												
10. Closing Stocks of fixed assets for water supply (Currency units)	O.1.1	O.1.1	O.1.1	O.1.1	O.1.1	O.1.1	O.1.1	O.1.1				O.1.1
<b>11. Closing Stocks of fixed assets for water sanitation (Currency units)</b>												
11. Closing Stocks of fixed assets for water sanitation (Currency units)	O.1.2	O.1.2	O.1.2	O.1.2	O.1.2	O.1.2	O.1.2	O.1.2				O.1.2

Note: the codes in the tables are provided as an indication that the data items are in the IRWS. They may be to be revised.

注：表中の符号は、データ項目が IRWS にあることを示すものとして提供される。それらは改訂される場合がある。

11. 第一のコアテーブルを構成するブロックは、水の物的供給・使用表及び貨幣的供給・使用表、国民経済計算、労働統計に記載されている。これらの表<sup>2</sup>は、そのコアテーブルのより多くの詳細を提供しており、コアテーブルを編集するプロセスの一部として、可能な限り取り込んでゆくべきである。

12. 上記の考察が示すように、第一のコアテーブルは、与えられた国の水事業の概観が組み合わされた場合に、三つのより小さな表として概念化することができる。これらの三つのテーブルは以下の順に表示される。国は政策の優先順位やデータの利用可能状況に応じて、これらの特定の表の一つに焦点を当てることができる。

さらに、第2部で説明されるように、これらのより小さな表の各々には、いくつかの有用な集計と指標を導出する、それ自体で十分な情報が含まれている。国が情報のより詳細な提示に興味を持つならば、データはさらに分解することができる；

特に、データは必要に応じて特定の ISIC 部門のため ISIC グループレベル（3桁）で示すことができ、そして（または）細部の詳細なレベルを提供するために、追加データ項目を表の行に加えることが可能である。たとえば、水力発電所による電力の生成が重要な場合は、ISIC351 に対応した水力発電所による水使用に関するデータは、ISIC35 内の内訳の列として示すことができる。

さらに、ISIC 36 は二つの列に分離可能である；一つは飲料水（すなわち主要水路の送配ネットワークにより送配される水）のためのもの、もう一つは他のすべての形態を含むものである。同様に、物的な水の供給は、取水の水源のような追加データ項目の表示において拡張が可能である。

13. 表は、表内のほとんどのセルのデータ項目を含んでいるが、実際には、各国は重要なデータ項目だけに焦点を当てられることに注目すべきである。多くの国々にとって、ほとんどの項目は重要ではなく、また、表を取り込むことは、すべてのセルへの記入を要求しない。また、家計の現実最終消費（N.1.1.1+ N.1.1.2）などの特定のデータ項目は、国民経済計算から得ることが困難な場合がある。そうした場合、国は、それらの制約の中で可能な限り表を完成させることに集中しなければならない。

---

<sup>2</sup> SEEA-CF 表 3.6（ホワイトカバー版の表 3.5.1）

表 1.1 簡略化された物的供給表

Table 1.1 Simplified physical supply table

	Abstraction of water. Production of water. Generation of return flows						Flows from the rest of the world		Total supply
	ISIC 01-03	ISIC 05-33, 41-43	ISIC 35	ISIC 36	ISIC 37	ISIC 38,39, 45-99	Households	Imports	
<b>Sources of abstracted water</b>									
Total supply abstracted water									
<b>Abstracted water</b>									
Total abstracted water									
<b>Wastewater and reused water</b>									
Wastewater									
Reused water produced									
<b>Return flows of water</b>									
Total Return flows									
Of which: losses									
<b>Evaporation of abstracted water, transpiration and water incorporated into products</b>									
Total									
<b>Total supply</b>									

表 1.2 簡略化された物的使用表

Table 1.2 Simplified physical use table

	Abstraction of water		Production of water			Generation of return flows		Final consumption	Flows to the rest of the world		Total use
	ISIC 01-03	ISIC 05-33, 41-43	ISIC 35	ISIC 36	ISIC 37	ISIC 38,39, 45-99	Households	Accumulation	Exports	Flows to the environment	
<b>Sources of abstracted water</b>											
Total use abstracted water											
<b>Abstracted water</b>											
Total abstracted water											
<b>Wastewater and reused water</b>											
Wastewater											
Reused water											
<b>Return flows of water</b>											
Total Return flows											
Of which: losses											
<b>Evaporation of abstracted water, transpiration and water incorporated into products</b>											
Total											
<b>Total use</b>											

Note that this table will be populated with data items in future revisions as there are outstanding terminology issues between the supply and use table in Chapter 3 and the combined presentation in Chapter 6 of SEEA Central Framework

SEEA-CF には、第 3 章の供給使用表と第 6 章の連結表示の未解決の用語の問題があるので、この表が、将来の改訂のデータ項目に取り込まれるであろうことに注意を要する。

表 1.3 貨幣的供給表

Table 1.3 Monetary supply table

	Industries (by ISIC division)							Rest of the world	Taxes less subsidies on products, trade and transport margins	Actual final consumption			Total
	ISIC 01-03	ISIC 05-33, 41-43	ISIC 35	ISIC 36	ISIC 37	ISIC 38,39, 45-99	Total industry			Households	Government	Capital Formation	
<b>Supply of water products (Currency units)</b>													
Natural water	L.1.1	L.1.1	L.1.1	L.1.1	L.1.1	L.1.1	L.1.1		M.1.1.1-N.1.1.1				L.1.1+M.1.1.1-
Sewerage services	L.1.2	L.1.2	L.1.2	L.1.2	L.1.2	L.1.2	L.1.2		M.1.1.2-N.1.1.2				L.1.2+M.1.1.2-
<b>Total supply of products</b>													

表 1.4 貨幣的使用表

Table 1.4 Monetary use table

	Industries (by ISIC division)							Rest of the world	Taxes less subsidies on products, trade and transport margins	Actual final consumption			Total
	ISIC 01-03	ISIC 05-33, 41-43	ISIC 35	ISIC 36	ISIC 37	ISIC 38,39, 45-99	Total industry			Households	Government	Capital Formation	
<b>Intermediate consumption and final use (Currency units)</b>													
Natural water	L.4	L.4	L.4	L.4	L.4	L.4	L.4			L.4	L.4		L.4
Sewerage services	L.5	L.5	L.5	L.5	L.5	L.5	L.5			L.5	L.5		L.5
Other products													

表 1.5 ISIC による資本形成及び固定資産のコアテーブルの一部

Table 1.5 Part of core table on capital formation and fixed assets by ISIC

	Industries (by ISIC division)							Rest of the world	Taxes less subsidies on products, trade and transport margins	Actual final consumption		Total
	ISIC 01-03	ISIC 05-33, 41-43	ISIC 35	ISIC 36	ISIC 37	ISIC 38,39, 45-99	Total industry			Households	Government	
<b>Gross fixed capital formation (Currency units)</b>												
For water supply	P.1.1	P.1.1	P.1.1	P.1.1	P.1.1	P.1.1	P.1.1					P.1.1
For sewerage/sanitation	P.1.2	P.1.2	P.1.2	P.1.2	P.1.2	P.1.2	P.1.2					P.1.2
Closing Stocks of fixed assets for water supply (Currency units)	O.1.1	O.1.1	O.1.1	O.1.1	O.1.1	O.1.1	O.1.1					O.1.1
Closing Stocks of fixed assets for sewerage/sanitation (Currency units)	O.1.2	O.1.2	O.1.2	O.1.2	O.1.2	O.1.2	O.1.2					O.1.2

14. 第二のコアテーブルには、水の物的フローに関する情報が含まれている。水資源の資産勘定は、地表及び地下への流入ならびに地表及び地下からの流出、さらにはこれら流れの行き先に焦点を当てている。SEEA-CF と SEEA Water は、関連する勘定記入の広範な説明を提供する。

15. この勘定は、水が取水され、消費され、降水を通じて増加し、または他国への流出や他国からの流入そして海へのリターンによって変動するという、水のフローを記録する。地表の降水が土壌水に含まれていることに注意が必要である。第一のコアテーブルと同様に、多くの国において、重要な記入はごくわずかである。国は政策の要求やデータの利用可能状況に基づいて優先順位をつける必要がある。

コアテーブル2-水資源勘定

Core table 2 – Water resources accounts

	Type of water resource						Total
	Surface water				Groundwater	Soil water	
	Artificial	Lakes	Rivers	Glaciers, snow and ice			
<b>Additions to stock</b>							
Returns	H.1.1.1	H.1.1.2	H.1.1.3	H.1.1.4	H.1.2		H
Precipitation	B.1	B.1	B.1	B.1		B.1	B.1
Inflows from other territories	B.2.1	B.2.1	B.2.1	B.2.1	B.2.1		B.2.1
Inflows from other inland water resources							D
Discoveries of water in aquifers							
<b>Reductions in stock</b>							
Abstraction	E.1.1.1	E.1.1.2	E.1.1.3	E.1.1.5	E.1.2	E.1.3	E
for hydro power generation							E.a.a
for cooling water							E.a.e
Evaporation & actual evapotranspiration	C.1	C.1	C.1	C.1		C.1	C.1
Outflows to other territories			C.2.1	C.2.1	C.2.1		C.2.1
Outflows to the sea			C.2.2	C.2.2	C.2.2		C.2.2
Outflows to other inland water resources							D
<b>Changes in stocks</b>							

## 第2部－指標

16. 水のコア・テーブルの情報は、水部門の多くの主要指標の導出に必要である。部分的なリストは、以下を参照されたい。

主要指標	内容
再生可能水資源合計 (TRWR)	各水力系統(集水域または帯水層)に注ぎ込む年間平均の流入と流出により提供される、「利用可能」な資源の合計 = $B.1 - C.1 + C.2$ where $C.2 = C.2.1 + C.2.2$
水資源の使用の集約度	使用される TRWR の(取水合計のすべて)割合 = $E.1 / (B.1 - C.1 + C.2)$
産業別取水合計	= E.1 コアテーブル 1 及び表 1.1 に示すとおり、産業別に区分して示される
水の生産性指標(使用する水の立方メートル当たりの経済活動による付加価値と定義される)は、第一のコア・テーブルから直接得ることができる。特に：農業における水の生産性の変化	天然の代用品：農業のために取水した水量で割られた農業生産の価値(降雨の使用は考慮しない) = 粗付加価値(農業) / [E.1 (農業) + G (農業)] 同様のアプローチを、他の産業のために講じることができる。 特に、水の生産性 = 粗付加価値(産業) / [E.1 (産業) + G (産業)] さらに、水の集約度の指標も、同じ情報を用いて導出することができる；それらは単純に、水の生産性指標の逆数である。
水の供給と水の衛生への投資	水への投資の重要性は、水の供給と水の衛生 = $P.1.1 + P.1.2$ のために総合的な総資本形成を測定する。 経済規模の総資本形成によってこの量を分割し、毎年それを追跡することは、水の供給と水の衛生への投資の相対的重要度の指標となる。

## 第3部－水勘定の編集

### 基本的な手順

17. この節では、水勘定の編集に関連するいくつかの基本的な手順を概説する。

SEEA-Water と水統計に関する国際勧告 (IRWS) は共に、基本データの整理と勘定の作成に関する完璧なガイダンスを提示する。

18. 水勘定と、情報源の割り当てを作成する決定をした後で、水勘定の編集のための一般的なプロセスが続く。これは、後に九つの手順のメモとして述べる。しかし、構成要素は厳密には連続しておらず、いくつかは同時に完了する場合がある。また、編集プロセスを通じて特定の段階を再検討する必要がある。

九つの手順は次のとおりである：

番号	内容
i	関心の対象となる勘定、期待される地理的範囲、報告の頻度(たとえば、年3回、年刊、季刊)、時間的な根拠(たとえば、会計年度、暦年、水文年)、産業や家計の詳細の期待されるレベルを定義する。

ii	有望なデータソースを識別し、手順 1 で作成した設計の選択肢と比較して勘定への適合性を評価する。この手順では、データソースに関連したメタデータを綿密に調べる必要がある。水勘定用として可能性のあるデータソースは以下に示される。
iii	データへの確実なアクセス。データ自体と関連するメタデータ、そのデータに基づく勘定を公表する権利を含む。
iv	データをインポートし、インポートされたデータ(それらは重要なデータに関連したメタデータの中で明瞭に表現されるべきである)で使われる分類と SEEA に基づく勘定で使われる分類の一致が必要であることに注意し、分析のためにデータを準備する。
v	データ・ギャップや、データソース等の統一を図るために、データ品質を含め、データを分析する；また、適切な方法で、範囲、定義、時期、分類に必要な調整を行う。
vi	可能であれば時系列分析を行い、また、この手順における、複数回の反復の必要性を認識し、ドラフトの勘定と表を準備し、編集する。
vii	指標や方法論の注釈、データ品質の記述等の、解釈の助けとなる材料を含む勘定を公表する。
viii	データや関連する方法論、及びその他の文書を保管する。
ix	利用者の意見を積極的に仰ぐことも含め、勘定、データソース、方法と体系を再吟味する。

### 主なデータソース

19. 勘定の編集は必然的に、広範囲にわたる情報源のデータの統合を必要とする。以下は、水勘定の最も一般的な情報源のリストである。しかし、各国の国家統計や情報体系はかなり異なる場合があるので、特定の勘定の構成要素のための理想的なデータソースといったものは存在しないと認識すべきである。特定のデータソースの妥当性は、範囲、時点、また、SEEA において明瞭に表現されている、ソースデータの分類や対象となる概念の整合の程度に基づいて決定されるべきである。

20. 最も一般的な情報源は次のとおりである：

種類	内容
調査データ	企業や家計の調査からのデータは、水の使用パターンを決定するのに重要である。産業（たとえば、農業）を対象とする調査は、産出の要件に応じて関連し得る。多くの場合、水の供給と処理は限られた数の企業によって管理され、したがって、（取水、送配及び処理を含む）その活動に関するこれらの企業の調査は、重要なデータソースである場合がある。
管理データ	水の供給・処理の業務は、たとえば、水道メーターからの読取値に関するような、様々な管理上のデータセットを生成する可能性がある。適切なプライバシーの問題と共に、管理上のデータセットは考察される。
水文学／気象データ	これらのデータは、水資源のストックの測定や、ストックの変動の主要な情報を提供する。直接の測定や科学的なモデルの使用により、これらの情報源からのデータはその他のものと一緒に、地表と地下の水位、河川の流れ、降水、蒸発散、及び水塊間の自然な移転の測定を提供する。
経済／国民経済計算のデータ	国民経済計算や関連する経済調査からのデータは、連結表示の生成の根拠や、（水の PSUT に記録されている）水の物的フローを対応する経済活動の測定値と比較するための根拠を提供する。同様に国民経済計算は、水利権に対する支払を含む、水の取水と送配、処理に関連する取引、水の価格、生産費用、投資と資本ストックの水準についての情報を提供することができる。
社会データ	関連する社会データは、雇用と人口データを含む。これらは通常、労働力の家計調査、また、人口センサスや関連する人口統計を通して得られる。

### 主な測定の課題

21. すべての勘定の作業と同様に、一貫性のある勘定に必要な概念の定義と範囲について利用可能なデータを調和させることを中心とした、様々な測定の課題がある。

水勘定の幾つかの特定の課題は次の通りである。

- ・ 物的なストック・フローの情報が空間的に調和したデータは、河川の流域または集水域のレベルで利用可能である。一方、経済データは国や行政地域レベルでのみ利用可能である。
- ・ 取水や送配中の水の損失や、盗難により失われた水フロー
- ・ 特に自家使用のための取水が広く行われている国における、家計活動の記録。

### 第4部－ロンドングループへの質問

- ・ 二つのテーブルの一貫性の問題が提起されているか？
- ・ 提案されたコアテーブルの一般的な構造に同意するか？
- ・ 特定の行／列を追加/削除する必要があるか？（たとえば損失、自家使用ための取水）

- コアテーブル 2 は、単に合計を含むだけのものであるべきか、それとも表示された水源の種類別の細目を持つべきか？
- コアテーブルからどのような追加指標が導出できると考えるか。また、追加指標の導出に必要な潜在的な新しいデータを与えられて、テーブルの構造はどのように変化すると考えるか。
- 水勘定の部分の編集を改善するために、どのような提案を持っているか。
- 協議プロセスについてどのような追加の考え／提案があるか？

## 付属文書—データ項目及び定義

付属文書は、水のコアテーブルを編集するために必要なデータ項目や対応する定義の幾つかを提供する<sup>3</sup>。

行名称・変数	名称	定義
1. 水生産物の供給 (通貨単位)		
L. 1. 1	自然水	水の料金と、年間の、主たる活動または副次的な活動として、水の供給活動に従事する経済単位により供給される水の供給サービス料の価値。 税及び補助金は除外する。
L. 1. 2	下水道サービス	年間の、下水道サービス活動に従事する経済主体が提供する下水道サービスの販売の価値。これには下水道サービスの供給のためのすべての料金が含まれている。税及び補助金は除外する。
3. 中間消費及び最終使用 (通貨単位)		
L. 4	自然水	年間の、他の経済単位により供給され、使用者(経済単位)が受け取った水の価値。これには、水の費用に加え、関連する輸送料が含まれている。 税を含み、補助金は除外する。
L. 5	下水道サービス	年間の、他の経済単位、通常は下水道産業から供給され、事業所や家計が受け取った下水道サービスの価値。水の供給費用は、使用される体積(m <sup>3</sup> )を乗じた水の価格(例えばm <sup>3</sup> あたり\$)に水の供給のための任意の関連サービス料を加えたもの等。 税を含み、補助金は除外する。
6. 水の供給 (百万 m <sup>3</sup> )		
F	他の経済単位への水の供給	本管、人工開水路、下水管、排水溝、トラックや他の手段を介して、経済単位により別の経済単位へ供給される年間の水量。送配中の水の損失やボトル入り飲料水の供給は除外する。
H	総リターン	基準領域内で、経済単位から直接、陸水資源や海、土地に流れる年間の水量。これは都市部の豪雨水、漏水や水道管破裂による損失、地下水に浸透するか、または地表水となる灌漑水、冷却水や水力電気の生成に使用される水の放出を含んでいる。 蒸発は除外する。
7. 水の使用		
E	取水合計	基準領域内で、経済単位により直接、環境から除外されたり、または収集されたりする年間の水量。
E. a	自家使用のための取水	基準領域内で、同じ経済単位により汲みあげられ、使用される年間の水量。
G	他の経済単位から受け取った水の使用	本管、人工開水路、下水管、排水溝、トラックや他の手段を介して、ある経済単位から別の経済単位に引き渡された年間の水量。他の経済単位から受け取った水は、環境から直接汲みあげた水やボトル入り飲料水を除外する。

<sup>3</sup> データ項目と定義は水統計に関する国際勧告に由来する。

行名称・変数	名称	定義
8. 総固定資本形成（通貨単位）		
P. 1. 1	水の供給用	年間の、水の収集、処理または供給のために経済単位により使用される水供給のインフラに対する支出の価値。これは、SNA では総資本形成と呼ばれる。ポンプ、水道管、ダム、建物、自動車、掘削装置及び土地の取得に対する支出を含む。
P. 1. 2	水の衛生用	年間の、収集や、都市流出水を含む廃水を処理、処分するのに使用される固定資産に対する支出の価値。廃水処理施設、下水道、ポンプ、浄化槽、下水道メーター、建物、都市流出水を集めて輸送するための排水溝、そして土地を購入するのに使用される支出が含まれる。
9. 水の供給の固定資産の期末ストック（通貨単位）		
0. 1. 1		年間の、居住者単位が所有する、取水、管理、貯蔵、処理、送配、排水、給水に使用される施設の価値。これらの活動のために所有され、使用される人工貯水池、水道管、ポンプ、貯水槽、スプリンクラー装置、水道メーター、建物や土地を含んでいる。水の供給産業、農業、発電、その他の産業及び家計が所有する水道インフラが含まれている。
10. 水衛生のための固定資産の期末ストック（通貨単位）		
0. 1. 2		年間の、居住者単位が所有する、収集、処理、貯蔵、送配、廃水の放出に使用される施設の価値。これらの活動のために所有され、使用される下水道、ポンプ、浄化槽、下水道メーター、建物、土地を含んでいる。下水道産業と同様に農業やその他の産業、家計によって所有され、下水の収集と水の処分のために使用されるインフラを含んでいる。都市流出水のインフラ、たとえば都市流出水の収集、処理、放出のために所有され、使用される排水溝、暗渠、ポンプ、水道管、濾過施設を含む。
降水		
B. 1		年間の雨、雪、みぞれ、雹（ひょう）、露、霧などによって大気から陸水資源に流れ込む水量。
その他の領域からの流入		
B. 2. 1		その他の領域から、または境界に沿って基準領域へ移動する、上流域との正式な協定により保護された地表水や地下水の年間の量。
その他の陸水資源からの流入		
D		年間の、領域の陸水資源間を移動する水量。
蒸発及び実際の蒸発散		
C. 1		地表及び水面から水が気化することにより大気圏に入ったり、あるいは植物からの蒸発、発散による年間の水量。

行名称・変数	名称	定義
その他の領域への流出		
C. 2. 1		領域内から他の領域または複数領域に流れる地表水や地下水の年間の量。これは、領域の境界沿いに位置する人工貯水池、湖、河川や帯水層から流出する水を含んでいる。
海への流出		
C. 2. 2		領域の陸水資源から海と海洋へ移動する地表水や地下水の年間の量。
その他の陸水資源への流出		
D		領域の陸水資源間を移動する年間の水量。